

工 事 名 : 庚午地区下水道改築 7 - 5 0 号工事

工事場所 : 西区草津新町一丁目ほか 1 町

積算参考資料

(注)

(この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。)

広島市下水道局施設部管路課

積算参考資料

（この資料は、入札参加者の的確な見積りに資するために、発注者が用いた積算資料を参考として提示するもので、請負契約上拘束力を生じるものではなく、誤謬または契約後の条件変化による場合を除き、契約上の変更対象となりません。）

提 示 項 目	提 示 事 項						
週休2日関係	「設計業務委託等技術者単価」及び「管路調査技師、管路調査助手、管路調査作業員、調査技師補、調査補助員」は労務費の補正対象としない。						
見積単価	見積単価については、別添「見積単価一覧表」のとおり。単価は週休2日工事の補正がかかる前の単価である。 「見積単価一覧表」の資源区分『労務費』及び『機械賃料（2DaW）』は週休2日工事の補正がかかる単価である。それ以外の資源区分については、週休2日工事の補正がかからない単価である。						
諸経費関係	【積算上の工種区分、施工地域・工事箇所区分等】 <table><tr><td>工種</td><td>施工地域・工事場所区分</td><td>その他補正</td></tr><tr><td>下水道工事（4）</td><td>大都市（2）</td><td>別紙のとおり</td></tr></table>	工種	施工地域・工事場所区分	その他補正	下水道工事（4）	大都市（2）	別紙のとおり
工種	施工地域・工事場所区分	その他補正					
下水道工事（4）	大都市（2）	別紙のとおり					
スクラップ関係	マンホール鉄蓋取替工のスクラップについては、全間接費の対象外としている。						
劣化度調査工の日進量について	劣化度調査工における中性化試験工及び圧縮強度試験工の日進量は以下のとおりとしている。 矩形渠 3,000×3,000mm ：7箇所／日						
管きょ内調査（施工後）について	施工後調査に要する費用は、共通仮設費（率分）に含んでいる。						

第 AMA
0100 号
明細書
換気工につい
て

歩掛は下水道用設計標準歩掛表 令和7年度 第1巻 管路 に基づいている。

(1) 換気設備工

D-160-1 換気設備工

(1 日当り)

種目	形状寸法	単位	数量	単価 (円)	金額 (円)	摘要
送 風 機 損 料	軸流式・定風量型 50/60 m³/min	日				
発動発電機運転	排出ガス対策型 25kVA	日				
諸 雑 費		式				
計						

完全週休2日（土日）に係る積算について

本工事は、週単位（7日ごと）で振替日の設定を行う「完全週休2日（土日）」であるため、以下の方法で積算を行っている。

「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により当初設計において、工事着手日から起算したすべての週単位で2休以上確保した場合の補正係数を乗じている。

なお、補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.02】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【共通仮設費率：1.02】

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 「完全週休2日（土日）」に満たなかった場合、現場閉所状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

「完全週休2日交替制」の実施を希望する場合、契約締結後7日以内に、「完全週休2日交替制」の実施を希望する旨を発注者に書面で提出すること。

受理されれば、「広島市週休2日工事等試行要領（土木工事）」により「完全週休2日交替制」の補正係数により変更を行う。

なお、週単位の「完全週休2日交替制」補正係数については以下のとおりとする。

【労務費：1.02】（設計業務委託等技術者単価は除く）

【現場管理費率：1.03】

市場単価（港湾工事は除く）

試行要領の別表1、2参照

土木工事標準単価

試行要領の別表3参照

※ 「完全週休2日交替制」に満たなかった場合、休日の取得状況に応じ、補正係数を減じた変更を行う。

見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0010	鋼製リング R-1-1～R-1-2	m	R0711	357,000	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0020	鋼製リング R-1-2～R-1-3	m	R0711	612,700	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0030	かん合部材	m	R0711	741	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0040	表面部材 ポリエチレン製	m	R0711	636	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0050	接合部材 かん合部材用	個	R0711	247	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0060	接合部材 表面部材用	個	R0711	342	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0070	耐酸モルタル	k g	R0711	427	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0080	高圧充てんホース φ 50mm 10m	本	R0711	66,400	資材損料 (賃料)	全間接費の 対象	
TA0090	エアー抜きパイプ	個	R0711	28,400	材料単価	全間接費の 対象	
TA0120	フローリング充てん材 1号	m3	R0711	163,000	材料単価 (更生材)	全間接費の 対象	
TA0150	送風機損料 軸流式 50/60 m3/min	台	R0711	140	機械損料	全間接費の 対象	
TA0200	特殊機械損料	日	R0711	41,000	機械損料	全間接費の 対象	
TA0201	円形切断工 φ 950mm	日	R0711	12,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0202	固定金具 3本/組	組	R0711	10,000	材料単価	全間接費の 対象	
TA0203	躯体緊結用ボルト 3本/組	組	R0711	4,500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0204	表層材 MSK 18kg/セツト	k g	R0711	500	材料単価	全間接費の 対象	
TA0205	クレーン装置付きトラック運転 4t 2.9t吊	日	R0711	29,400	その他施 工単価等	全間接費の 対象	

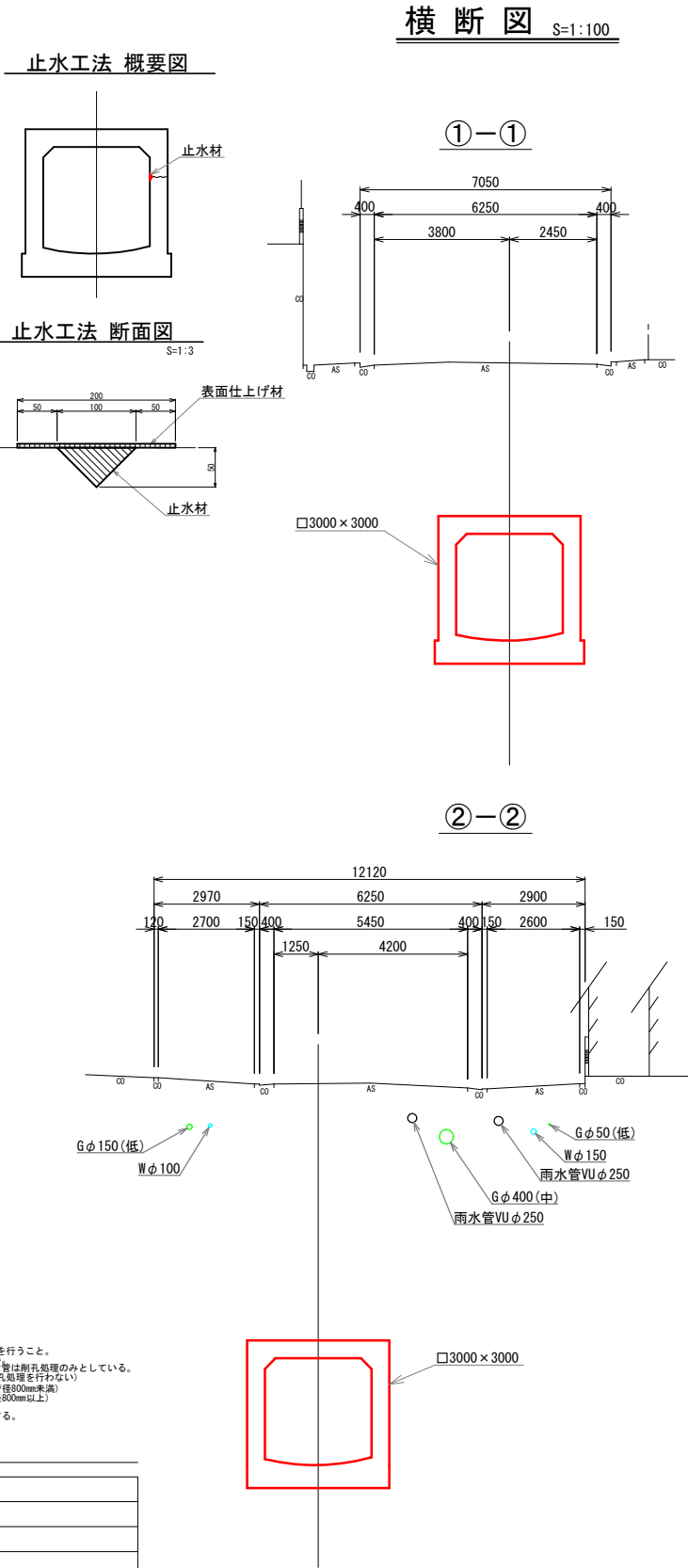
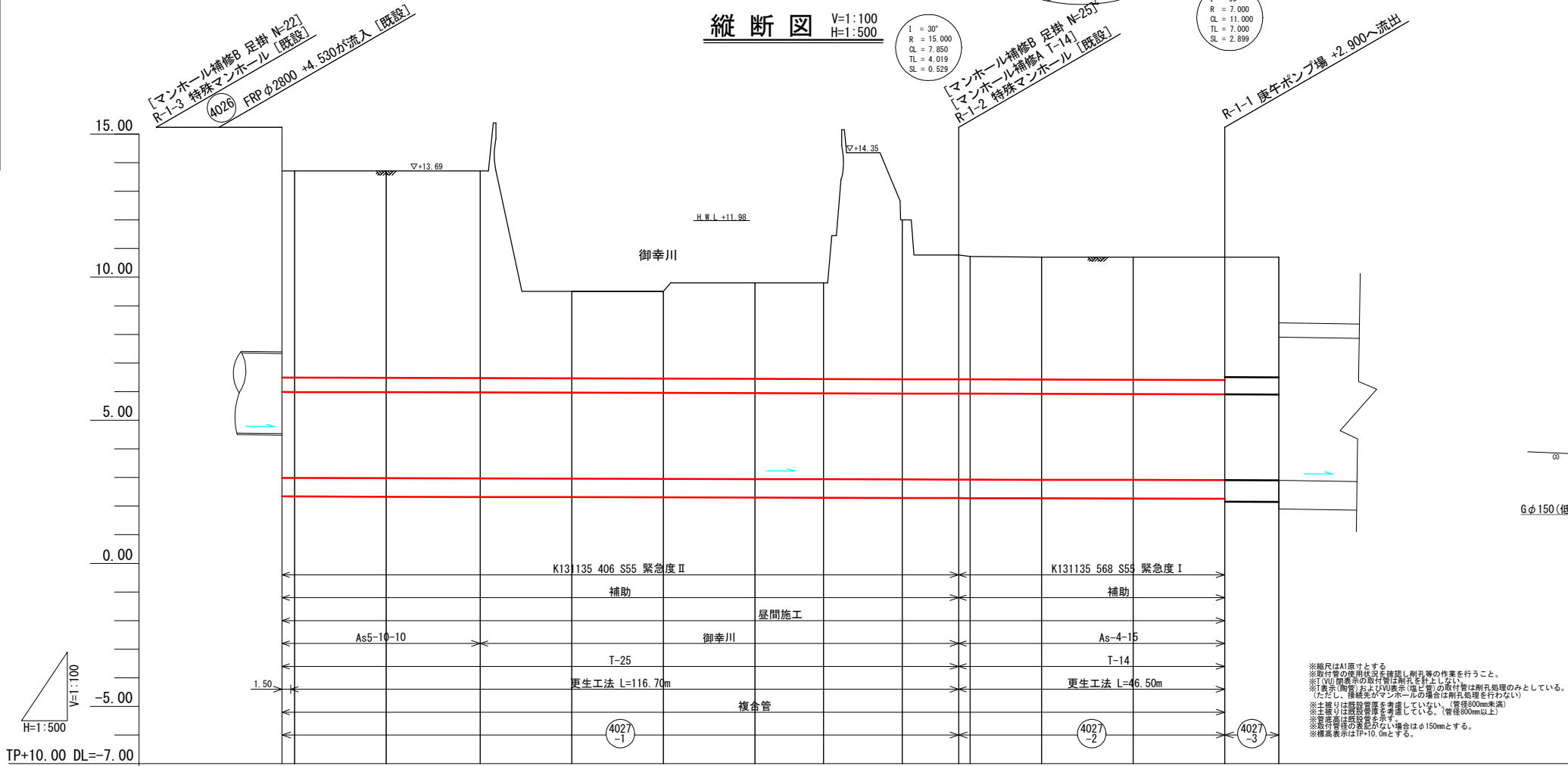
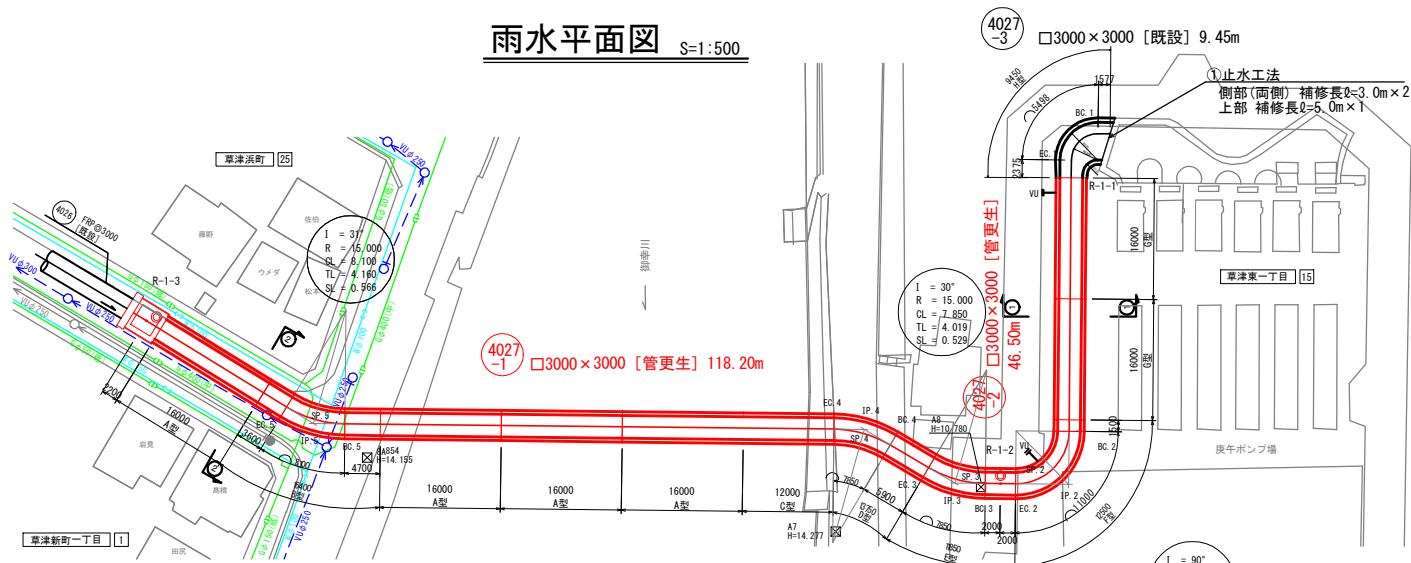
見 積 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
TA0206	ダンプトラック運転 2t	日	R0711	8,000	その他施 工単価等	全間接費の 対象	
TA0207	無収縮モルタル	k g	R0711	182	材料単価	全間接費の 対象	

補 修 凡 例	
マンホール補修A	鉄蓋取替
マンホール補修B	足掛取替(幅300mm)
マンホール補修C	インパート打替
マンホール補修D	躯体補修
マンホール補修E	高さ調整部補修
マンホール補修F	鉄蓋・床版取替

マンホール 凡 例			
○	1号 マンホール	●	特1号 マンホール
○	2号 マンホール	●	特2号 マンホール
●	3号 マンホール	●	特3号 マンホール
⊖	4号 マンホール	■	特4号 マンホール
○	5号 マンホール	⊙	組立20号マンホール
⊗	6号 マンホール	⊙	組立1号マンホール
⊗	7号 マンホール	⊙	組立2号マンホール
□	8号 マンホール	⊙	組立3号マンホール
○	9号 マンホール	□	掘 除 口
△	角4号 マンホール	⊕	進 口 敷 瓦マンホール
▽	角5号 マンホール	△	特殊 マンホール

凡	例
————	合流案施
-----	合流既設
-----	汚水既設
-----	雨水既設
-----	雨水計画
-----	雨水計画
——＋——	汚水同一施工
——＋——	雨水同一施工
—	樹不明取付
☒————	雨水取付(既設)
●————	汚水樹取付
○————	宅地内雨水
——(—)——	水道管
——(I)——	ガス管
——(N)——	N T T ケーブル
——(+)——	中電ケーブル
○●————	内副管
○●————	外副管



位 置	取付部 削孔工	取 付 管 突出除去	モルタル等 除 去	木の根 侵 入	パ ンチ 除 去	浸入水 処 理
R-1-1～R-1-2	2	—	—	—	—	6
R-1-2～R-1-3	—	—	—	—	—	12

庚午地区下水道改築7-50号工事				
縮尺 図示			製造年月日	R07.11
課長	係長	設計	写真	<div>図 番 計</div> <div>NO. 2</div>
広島市下水道局施設部管路課				

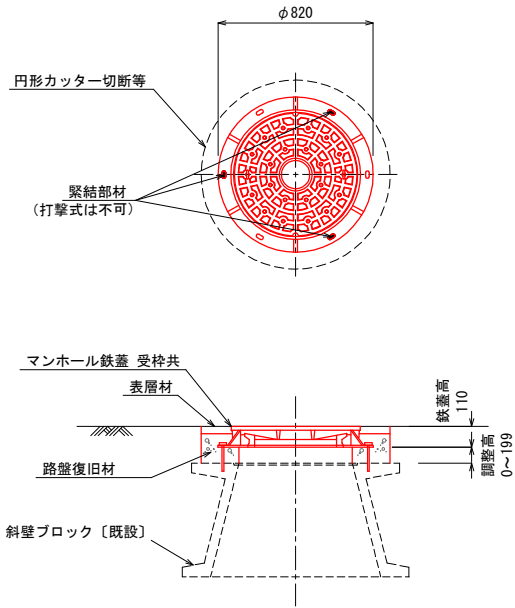
[参考図]

マンホール補修工

マンホール補修A S=1:20
(マンホール鉄蓋取替工)

マンホール補修B S=1:5
(足掛金物取替工)

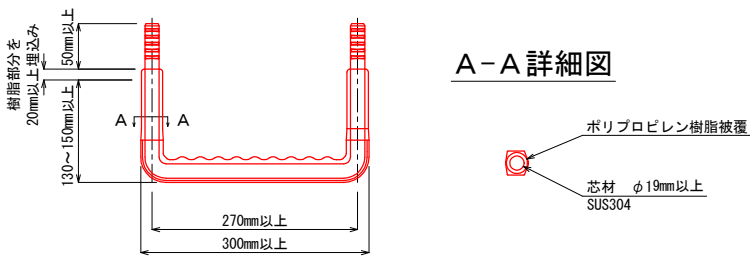
標準型
(円形工法)



※調整高が200mmを超える場合は、追加の調整リングを使用する。

マンホール補修Aタイプ数量表

図面No	マンホールNo	マンホール補修A	調整リング(mm)	鉄蓋種別
1	R-1-2	標準型	150×1	T-14



後付けタイプ足掛金物仕様		
芯材	寸法	φ19mm以上
	材質	SUS 304
被覆樹脂	材質	ポリプロピレン樹脂と同等品以上
取付方法	<ul style="list-style-type: none">・エポキシ等により完全に固定する。・躯体へは5cm以上埋込む。・また、腐食防止のため樹脂部分を2cm以上埋込む。・先端部には、脱落抜け防止（ネジ切り、ボルト止め）加工を施す。・足掛り部の出は、13cm以上を基本とする。・足掛金物の設置ピッチは30cmを基本とする。・足掛り部表面は、すべり止め加工を施す。	